

週報

国際ロータリー・テーマ

ロータリーは分かちあいの心

Vol.41 第2030回例会

2008.6.5



今年度会長テーマ

ロータリーは楽しさを分かちあい
ロータリーに楽しさを分かちあい
新しい仲間の輪を拓けましょう 皆さまとともに

■司会：
中丸例会運営委員長



■点鐘：樺澤会長

■合唱：ロータリーソング
「奉仕の理想」

◆ソングリーダー：村田会員



■会長報告

樺澤会長

6月はロータリー親睦活動月間です。このロータリー親睦活動は国際奉仕の一部門で、趣味及び職業を目的とするグループをロータリー親睦活動と呼んでいます。このロータリー親睦活動グループの起源は、エスペラント語に関心を寄せていたロータリアン達が1928年に結成したグループが最初であるといわれています。

ロータリーの綱領に、「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること」と定められていますが、その目的を実現するためのプログラムで、1993年に世界親睦活動プログラムと国際連絡グループとを合わせて、趣味・職業別親睦活動プログラムとし、さらに保健・医療問題に関心を持つ親睦活動を含めて2002年からロータリー親睦活動と改称されています。

ロータリー囲碁同好会は国際ロータリーが認定した日本発進の唯一のロータリー親睦グループです。ワイン鑑賞のロータリー親睦活動があるのですから、日本発の日本酒又は焼酎の鑑賞のロータリー親睦活動があっても良いと思いますが、いかがでしょうか。

今週の月曜日の2日に、地区指導者育成セミナーに相羽次年度幹事と、山本次年度ロータリー情報

報委員会委員と参加して参りました。

このセミナーは国際ロータリー第2580地区では初めての開催だそうです。小川地区幹事の司会で浅川ガバナーのご挨拶に始まり、「CLPとポリオについて」戸田パストガバナーが講演をされました。この浅川ガバナーは、関東大震災にたいして各国のロータリークラブから寄せられました義捐金について、東京ロータリークラブが震災の発生から迅速なロータリーからの支援に感動して、日本のロータリーの発展の元になったという、先週の例会で私がお話ししましたことと殆ど同じ話をされ、心のこもった義捐金をお願いしたいとのことでした。

私どものクラブとしては、皆様の心にこもったミャンマーのサイクロンの義捐金1000円及び中国四川省の地震の被害に対する義捐金をお願いします。また、桜華女学院中学、高等学校の卒業で北京オリンピックのカヌー選手の竹下百合子さんに対する支援金一人1000円をお願いします。

桜華女学院中学、高等学校校長日高先生から支援依頼状を頂いており、桜華女学院はロータリーの奉仕活動にご理解を戴き、青少年交換学生の受け入れについてご協力を戴いており、また、過去に当クラブの交換学生を受け入れて戴いております。

■幹事報告

河野幹事

■ガバナー事務所：

- ・ミャンマーのサイクロン並びに中国四川省大地震災害への支援について
支援金送金メ切り 6月20日(金)
- ・2008～09年度対人地雷常任委員就任のお願い
対人地雷の除去に関する特別委員会常任委員
神崎 武 会員
- ・2008～09年度ガバナー公式訪問日程(変更)と組織図の受理
※当クラブ変更無し



■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30

■例会場／八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／相羽 正 小林 学 田中 重義

■事務所／〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500

- ・2008～09年度ガバナー公式訪問スケジュール
確認書の受理
7月24日(木) 於 八坂神社
14:00～ 会長・幹事と打ち合わせ
14:30～ クラブ協議会
18:00～ 懇親会
随行者：地区幹事 鈴木照夫

■青梅ロータリークラブ：

数野分区幹事年度末のご挨拶予定日
2008年6月19日(木)予定

■例会変更：

福生RC 6月4日(水)→6月6日(金)親睦会
6月18日(水)→夜間例会「ほたる鑑賞」

■回覧：

「友」インターネット速報 No.336
武蔵野女子学院 News letter

■出席報告 石山例会運営委員

在籍会員数	出席	免除	欠席	出席率
43	38	1	4	90.24

■前々回メイクアップ修正後
前々回欠席：3名



■前々回出席率

メイクアップ修正後：92.68%

■前々回メイクアップ者：

赤木会員：理事会
石山会員：所沢中央RC
當間会員：東大和RC
當麻会員：東大和RC
山本会員：地区委員会

■ニコニコBOX 山本クラブ管理委員

■ご結婚祝月：野村会員



■会員誕生祝月：

野崎(征)会員、戸澤会員、
飯田会員



■令夫人誕生祝月：

飯田会員、田中会員



- ◆金子会員：妻喜美子の母、ゆき子の葬儀につきましては、樺澤会長、細渕一男前市長はじめロータリアンの皆様からご厚志や生花などを賜り喪主及び親族一同心よりお礼申し上げます。
- ◆樺澤会長：ロスの世界大会出席の為、次回例会を留守にします。
- ◆河野幹事：承知しました。
- ◆日時会員、戸澤会員：昨日桜井ガバナーエレクトにご出席頂きまし第6回多摩分区を行いました。次年度のご協力をお願い致します。
- ◆恵面会員：(社)東京都トラック協会の事故防止委員会へ出席の為早退させていただきました。
- ◆相羽会員：内藤さん、本日はお忙しい中、卓話お引き受けいただきありがとうございます。相續で悩んでいる会員の方も多いためと思いますのでよろしくお願い致します。
- ◆小林会員：内藤様ようこそいらっしゃいました。倫理共々よろしくお願い致します。
- ◆高橋会員：3月に入会させていただき早3ヶ月が経過しました。会員の皆様、今後ともどうぞよろしくお願い致します。
- ◆竹田会員：菱やん、昨日は結構なフラダンスご馳走様でした。



本日のニコニコ合計： 68,000円
累計計：1,652,500円

■委員長報告

■日時次年度ガバナー補佐

地区委員の役員の皆様に協力頂きありがとうございます。神崎様次年度も地区対人地雷常任委員としてご協力頂くことになりました。どうぞよろしくお願い致します。



■野村国際奉仕委員長

3日にロータリー財団地区委員会が開かれました。1億ドルの基金を集めることとなりました。詳細は後日ご報告致します。



国際大会の当日のバスの責任者を相羽さんをお願いすることになっています。何かあったら連絡をお願いします。

卓話

(株)三商 代表取締役 内藤雄様

■紹介者：相羽クラブ管理委員長



「相続での大切な心」



1. 相続対策の三原則

- ①節税対策
- ②納税対策
- ③分割対策

課税対象4.2%→大衆課税へ
事業継承の円滑化→法改正
・会社法→種類株式
・民法→遺留分の特例

今後、相続対策の三原則や税制改正・法改正に関心を持つ必要がある。

※もう一つ大切なのが、相続における心の問題である。心の裏付けのない相続は危うい。「感情」と「勘定」の争い。

2. 相続で大切な心

- ①思いやりの心(夫から妻・子へ)
元気なうちに、自分の意志で、後のことを決めておく。
残された人が判断に困らないよう、明らかにしておく。
責任でもある。「何もしないとどうなるか」
- ②感謝の心
子から父へ
○「ごころうさま」「ありがとうございます」
×「もらえるのは当たり前」
親の介護をしてくれた人へ
「ありがとう」
- ③譲る心(相続人同士で)
「もらえるだけでもありがたい」VS「もっと欲しい」「私の方が少ない」
「奪い合えば足らぬ、分け合えばあまる、奪い合えば憎しみ、分け合えばやすらぎ」
(相田みつを)

調停・遺留分減殺請求→勝っても負けても不幸。
兄弟姉妹の絆が切れる。10ヶ月以内に分割協議が成立しないと、相続税の特例が使えない。
「介護」への配慮が大切。

「遺言が大切なことを知りました。書いた方がよいことも分かりました。でも、まだ書く気になれません。だって、まだ元気だし人生まだまだこれからだと思っていますから。」

それに、相続財産といっても遺言にするほどないし、もしもの時は家族が適当にやってくれると思う。」セミナーや講演会で「遺言」の話聞いた人の多くがこのように考えています。

確かに「遺言」は、「自分が死んだら」を考えることになるので気が重くなります。先送りしたくもありません。本気で書こうとしたら、色々な想いがこみ上げてきて涙で書けなくなります。

そこで、いきなり「遺言」を書くのではなく、「遺言」を書く準備のつもりで「遺言ノート」を書き始めてみませんか。これまでの人生を振り返り、現在を見つめ直し、これからの人生を思いながら書きます。「遺言」と違い法的な効力はありません。しかし、形式や内容は全く自由です。

なにより、書いた人の想いが伝わります。

参考までに3つの柱となる項目をあげてみます。

①残された家族が判断に困らないように「思いやり」を伝える。

例えば、病名(ガンなど)の告知を望むか、延命治療を希望するか否か、葬儀の規模や方法など、誰に連絡するか、お墓のことなど。生前の会話だけでなく、書き記してあれば残された家族は親戚や世間の目に振り回されることなく決断できます。悲しみの中にも「本人の希望通りにしてあげられた」充実感が得られます。

延命治療を望まない場合には、「尊厳死宣言公正証書」や日本尊厳死協会の「尊厳死の宣言」があります。他に、遺言書や各種証券類の保管場所、貸金庫、パソコンのパスワード、借金や保証債務に関することも記載してあると遺族は慌てずにすみません。

②自分の「生きざま」を伝える。

【過去】名前の由来、両親のこと、生い立ち、進学、就職、配偶者との出会いと結婚、子育て、うれしかったこと、つらかったこと、転機、業績など。

【現在】信念、人生観、価値観、座右の銘、仕事、趣味、特技、資格など。

【未来】これからの夢、希望、やりたいことなど。

③家族への「感謝と励まし」のメッセージを伝える。配偶者の「ありがとう」の感謝の気持ちを伝える。特別なラブレターとして。

一人一人の子供達へエピソードと励ましの言葉を記す。

「こういう親父(お袋)だったのか」「こんな苦勞をしながら育ててくれたんだ」「これを読む度に勇氣をもらおう」「私も頑張ろうと思う」

子供達がこう感じてくれたら嬉しいですね。

財産の多少に関わらず、人にはそれぞれの人生があります。目に見えない財産が必ずあります。それを「思いやり」の心と共に、大切な人に「遺言ノート」として伝えませんか。

これからの自分の人生を大切に生きることにもなります。長生きに感謝しながら、書き直すこともできます。「遺言」とセットになれば、残された人たちの何よりの「宝物」になります。

■第12回(6月度)理事・役員会

■5月度収支明細報告書：

承認されました。

■ガバナー公式訪問について(7月24日)

14:00～ 会長幹事との打ち合わせ

14:30～16:00 クラブ協議会

16:00～17:30 例会

18:00～ 懇親会「いちまつ」

詳細は会長・幹事に一任

■「心の東京革命」会費について

参考：前年度賛助金として1万円

昨年同様に1蔓延の賛助金→承認

(継続事業としたい)

■ミャンマーサイクロン並びに中国四川省大地震災害への支援について

ミャンマー：1000円、中国：1000円

会員より寄付を募る

■インターアクト協賛金(3万円)について

会長・幹事に一任

今年度については協賛する

(多摩分区内インターアクトはなし、検討事案)

■その他

・島田憲三氏再入会について

入会式は6月26日

入会手続き7月1日付とする

6月19日例会出席予定

・6月12日(木)例会休会について

6月11日～18日ロサンゼルス国際大会参加者

10名令夫人5名

休会扱いはなし

・事務局の給与について

4月度より給与の昇給を承認された。

■点鐘：樺澤会長